

## 2-2 人的資源の確保

### ○コンサルティングチームの設置

#### トップレベルスポーツクラブの経営支援のためにコンサルティングチームの設置

平成 20 年度より日本トップリーグ連携機構内にコンサルティングチームを設置し、加盟リーグから推薦されたチームに対し経営支援のコンサルティング活動を 2 年間にわたって行ってきた。

日本経済が不況に陥り、企業チームが廃部や休部に追い込まれるようすを目の当たりにしながら、企業チームからクラブチームとして生まれ変わろうとするチームを中心に行ってきた。ヒアリング調査から、同じチームを 2 年間続けてコンサルティングすると、チームの担当者がしだいに能力を身につけチームが変化してくる。実際にコンサルティングした提案を具体的に実行していくことで、成果が見えてくる。

チームの人々は、今まで競技活動を主にやってきて、会社の経営や興行のやり方などは全く知らない人が多く、手探りの状況でチームを運営しているのである。そこで、具体的に指導すると吸収も早く、自分たちで積極的に実行するチームもある。しかし、チーム事情や会社の状況で具体的な指導をしてもできない場面も数多くあった。

日本女子サッカーリーグ「なでしこリーグ」やバスケットボール女子日本リーグ「WJBL」からは、今後このコンサルティングチームに全チームの指導を期待する声が寄せられている。また、現在コンサルティングしているチームからも、引き続き指導を希望されているのが現状である。

このような、多方面にわたる専門家が集まるコンサルティングチームをトップレベルスポーツクラブの経営支援のために常設することがスポーツ界にとって必要なことである。例えば、日本トップリーグ連携機構のようなスポーツ競技を広範囲に網羅する団体に「専門家チーム」を設置し、必要なときに派遣ができるような環境を整えると、協会やリーグ、そしてチームの大きな支えになると考える。

